

山口情報芸術センター [YCAM]

やまぐちアートコミュニケータープログラム2022 架空の学校「アルスコーレ」

2022年8月～2023年3月

スクールの語源である「スコーレ」に、 芸術を意味する「アルス」を合わせた架空の学校『アルスコーレ』

山口情報芸術センター [YCAM] では、アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成するプログラム「やまぐちアートコミュニケータープログラム2022: 架空の学校『アルスコーレ』」を開催します。

このプログラムは、公募で集まった市民を対象に実施するもので、参加者は山口市中心市街地のイベントスペースや空き物件で開催される、レクチャーやゼミ、部活動に参加しながら、アートについての学びを深め、「観る力」「面白がれる力」を養っていきます。2022年9月から館内外で開催される「Yamaguchi Seasonal (やまぐちシーズナル) 2022 : Forest Symphony + water state 1」において、ツアー形式の鑑賞イベントのガイドをおこなうほか、アートと街にまつわるワークショップや展覧会を企画していきます。

参加者が山口市中心市街地を舞台に架空の学校生活を送る、本プログラムを通じて、イベント制作に必要なさまざまなノウハウはもとより、街の賑わいや、街の新たな魅力を生み出す視点なども身につけるきっかけになるでしょう。この機会にぜひご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL : 083-901-2222 FAX : 083-901-2216 メールアドレス : press@ycam.jp ウェブサイト : www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



2021年度の「やまぐちアートコミュニケータープログラム」
で参加者が企画したプログラムの様子
(撮影：塩見浩介)

アートへ迫るヒントや技を一緒に見つけよう



2021年度の「やまぐちアートコミュニケータープログラム」でのオリエンテーションの様子（撮影：ヨシガカズマ）

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア／ハードウェアなどを応用して、教育プログラムを多数開発／実施してきました。また並行して、メディア・テクノロジーが持つ可能性を応用して、山口の地域課題の解決や、地域資源の活用につなげる取り組みも模索しており、特に近年は、こうした取り組みを主体的に推進することができる人材の育成に取り組んでいます。

また近年、全国の美術館や美術大学を中心に「アートコミュニケーター」と呼ばれる活動が注目を集めています。これは美術作品を起点に生み出されるコミュニケーションを重視しながら、鑑賞者同士や鑑賞者と地域とのつながりを深める存在のことであり、地域住民が参加して、アートを軸にしたさまざまな活動がおこなわれています。

こうした流れを受け、YCAMでも2021年度から「やまぐちアートコミュニケータープログラム」を開始し、公募で集まった高校生からシニアまでの幅広い世代のメンバーを対象に、多様なプログラムを実施。作品鑑賞を豊かにする数多くの自主企画が開催されました。2年目となる2022年度は、プログラム・ディレクターにデザイナーの三宅航太郎を迎え、プログラム全体とそれが展開される「街」を架空の学校に見立て、山口市中心市街地での学びと交流の時間と空間を創出します。

■ 過去の人材育成の取り組み

RADLOCAL

「地域×メディア」をテーマに、幅広い発想力で地域課題、地域発信、公共空間といった問題へ取り組む次世代のプランナーやプロデューサーを育成する集中ワークショップ。2014年と2016年に開催。

その後は、RADLOCAL Practiceとして、館内のレストランスペースを活用した、飲食に関する事業を展開した。

スポーツ共創人材育成ワークショップ



撮影：谷康弘

「スポーツ共創」に関わる人材を育成する合宿形式のイベント。注目を集めるスポーツ共創や周辺分野の専門家を講師に迎え、スポーツ共創イベントの設計手法を学ぶとともに、参加者が自身のコミュニティなどでスポーツ共創を実現するためのアプローチを検討していく。

参加者自らがアートや学びに関するイベントを実施する



2021年度の「やまぐちアートコミュニケータープログラム」で参加者が企画したプログラムの様子（撮影：塩見浩介）

2022年度は、企画するワークショップやイベントなどの形式にはとらわれずに、それぞれの参加者の興味や関心、ペースに基づいて、自由な学びと交流の場として架空の学校を形作っていきます。『アルスコーレ』と名づけられたこの架空の学校では、世代やバックグラウンドに関わりなく、アートへの関心、自主的な学びへのモチベーションをもとに、仲間と共に学び合いながら学校生活を作っていきます。

街全体をキャンパスに、豊かに広がる学びの活動

『アルスコーレ』のプログラムは、山口市中心商店街の空き店舗や、フリースペースを移動しながら、街全体をキャンパスにして展開していきます。街中での展覧会を企画するゼミや、対話を通して作品鑑賞を深める部活動、ゲストを呼んで開催する特別レクチャーのほか、参加者が自ら学びたいことのために必要なレクチャーやゼミを企画、実施していくことも可能です。

自分なりのアートに迫るヒントや技を見つける

アートや学びをどのようにして自分のものにしていくか、その方法は十人十色、さまざまな方法があります。ですが、決められた手順や方法論に従ってみても、型にはまってしまって、不自由に感じてしまうこともあるかもしれません。アルスコーレでは、参加者が自分自身でアートとの関わりを見つけ、学びの手応えを得られるよう、共に学び合える環境づくりをおこないます。

プログラム・ディレクター

三宅航太郎（みやけ・こうたろう）

1982年生まれ。鳥取県在住。アーティストとして活動したのち、2012年合同会社うかぶLLCを設立。カフェを併設した二つの宿を10年間運営。またグラフィックデザインをベースに、コミュニティのデザインやブランディングなど、県内外の文化的なプログラムに関わる。2022年、個人事務所「MAA」として独立。

プロジェクトキュレーター

石川吉典（いしかわ・よしのり）

1980年生まれ。岡山県在住。多くのアートプロジェクトやアートサイトの立ち上げや制作・運営などに関わってきたのち、2017年に独立。フリーランスとしてキュレーションやプロジェクトマネジメントなどをおこなう。また、自然と人との関わりを深めるフィールドや空間づくりの企画や、執筆活動などをおこなっている。

企画・制作

Twelve Inc.

美術家、映像作家の山城大督が代表を務め、アートマネージャーやビデオグラファーからなるアーツプロダクション。京都府を拠点に、全国各地で映像制作やジャンルレスなアートプロジェクトの企画制作・アートプロデュースをおこなう。

開催概要

**やまぐちアートコミュニケータープログラム2022
架空の学校「アルスコーレ」**

2022年8月～2023年3月

参加無料（一部プログラムの実施運営に携わるメンバーには賃金をお支払いします）

応募条件

- ・定員50名程度
 - ・年齢や居住地は問いません（活動は山口市内を中心に、一部オンラインで実施します）
 - ・メール（パソコン、スマートフォンのいずれか）による連絡が可能な方
- ※そのほか注意事項はウェブサイトをご確認ください。

スケジュール説明会 ※参加無料／要申込

2022年8月5日（金）

(1) 13:30～14:30（オンライン開催）

(2) 19:00～20:00（会場：山口情報芸術センター [YCAM] 旧レストラン・スペース）

初回活動（オリエンテーション）

2022年8月20日（土）14:00～15:30

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

オープンイベント（ゲストレクチャー）

第1回：2022年10月1日（土）13:00～16:00 場所未定

第2回：2022年11月19日（土）13:00～16:00 場所未定

研究会・レクチャー・部活動

以下は一例です。今後随時コンテンツが追加されます。

[展覧会をつくるゼミ] ※定員10名、継続参加できる方優先

9月～11月：月2回程度 11月末～12月：週1回程度（直前変動あり）

成果展覧会：11月末～12月上旬

[対話でアートと他者に出会う部活動] ※定員20名、継続参加できる方優先

月2回程度

[全体ゼミ]

週2～3回の自主活動を予定

メンバー自主企画

参加者が企画運営するレクチャーやワークショップを開催予定

■ 申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。

ウェブサイト：

www.ycam.jp

締切：8月15日（月）

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：やまぐちアートコミュニケータープログラム2022 実行委員会（山口情報芸術センター [YCAM]、Twelve Inc.）